

プロジェクト名： J-POWER若松総合事業所の周辺護岸に設置した 石炭灰重量モルタルブロック等による藻場造成プロジェクト

◆プロジェクトの概要

石炭灰と銅スラグを主原料としたコンクリート代替材料・石炭灰重量モルタル(以下、「Jブルーコンクリート」)の開発を継続しています。Jブルーコンクリートを用いた補修工事として、現在まで4 m³級ブロックで1,780個の使用実績があり、継続的に海藻類(アラメ、ツルアラメ、ホンダワラ)の繁茂状況を観察しています。水深の浅い位置に加え、水深10mを超える位置のブロックにも設置後1年目から相当程度の被度で海藻類が付着・生育する等の効果が確認されている他、ブロック表面形状の工夫により更なる海藻類の付着性能向上に向けた取り組みを継続中です。



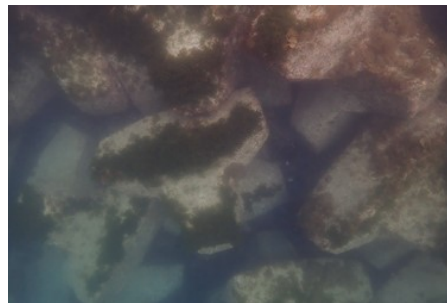
表面形状の工夫例



今年度の海藻類繁茂状況

◆プロジェクトの特徴・PRポイント

従来の土木構造物は構造機能の実現に重きを置き構築されてきました。Jブルーコンクリートは密度を重くするというグレイインフラ機能の増加だけでなく、藻場造成効果に優れた構築物（グリーンインフラ）とすることもできる、いわゆるグリーン・グレイハイブリッドインフラを実現することを目指した取り組みとなっています。



設置後 1 年目



設置後 3 年目

水深 約12mに設置したJブルーコンクリート